

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 78 号

発行日 令和3年1月31日

発行人 高橋 秀 通

夢と希望にあふれるふるさと浅川をめざして

浅川地区住民自治協議会 会長 高橋 秀 通



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族ともども賑やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。浅川地区の皆様には、日頃から、浅川地区住民自治協議会の事業運営に関しまして、特段のご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、1月以降、中国武漢に端を発した新型コロナウイルス感染症が、世界中に猛威を振るい、100年前のスペイン風邪以来の人類に対する脅威になっています。感染防止のため、密閉・密集・密接の三密を避けるべく、人と人との接触機会を減らすため、学校の休校、会社でのテレワークの実施、移動の自粛、イベント等の中止、飲食店等の営業時間短縮の要請等の対策が実施されてきましたが、依然として感染の拡大が続いており、2回目の緊急事態宣言が発出される状況になっています。

浅川地区内においても、令和2年度当初から、感染防止対策の徹底を図るため、住民の皆様のご理解、ご協力をいただきつつ、住自協に関係する各種行事の中止や規模を縮小しての開催を実施しており、今まで経験したことのない残念な状況が続いています。

このような中ではありますが、浅川ダム周辺の利活用につきましては、浅川改良事務所のご協力を得ながら、浅川ダム展望広場周辺の環境整備、農産物直売会の開催をほぼ計画通り実施してきました。これとあわせて、7月23日には、昨年度より規模を縮小したもののダム祭りを実施することができました。

また、長野市の有形文化財である「ブランド薬師」については、八穂神社保存会等の関係団体のご尽力により、社殿屋根の修復が行われました。これとあわせ、参道等の整備については、チーム・フロンティア浅川により実施されました。また、地区内でもあまり知られていなかったブランド薬師の由来と参道脇の十三仏等について、長野市文化財伝統環境委員長 相原文哉先生のご指導により「ブランド薬師 十三仏+4仏をひもとく」が、写真をふんだんに使った解説書として刊行され、これにより長年に亘り秘められた歴史が紐解かれることと思います。

さらに、10月28日には、加藤長野市長と浅川住自協との懇談の場である「ようこそ市長室へ」が2年ぶりに開催されました。浅川住自協からは、松食い虫被害対策、「あさかわ号」の運行改善、逆谷地の現状と整備について提案を行い、それについての意見交換が行われ、浅川地区に対する一定の共通認識が図られ、これらに対する今後の取り組みが期待されます。



【ブランド薬師から臨むご来光】

一方、住自協の活動の基本になる「第一次浅川まちづくり計画」は令和2年度で5年間の計画期間が終了します。このため、これに引き続き、第一次計画の事業実施状況を踏まえて第二次計画を策定するため、昨年2月からまちづくり計画策定委員会において実現性の高い計画となるよう検討が重ねられています。キャッチフレーズは、「あなたが主演 夢と希望にあふれるふるさと浅川をめざして」として、令和3年度からのまちづくりの指針として活用していくためには、住民の皆様のおひとり、おひとりが、まちづくりに参画するという意識をお持ちいただくことが重要と考えますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

おわりに、現在、第三波が猛威を振るっているコロナ禍の1日も早い終息を願いつつ、本年が、浅川地区にとって穏やかな1年であることと、住民の皆様のご健康とご多幸を心から祈念申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。



【朝日に輝くブランド薬師】

「ブランド薬師十三仏＋4仏をひもとく」完成する！

～「第一次まちづくり計画（平成28年～令和2年）」の集大成として～

まちづくり計画推進委員会（住民自治協議会）が進めてきたまちづくり計画の最終年度にあたり、これまでの様々な実践活動の到達点として、冊子「ブランド薬師十三仏＋4仏をひもとく」が完成し、関係者・関係機関、そして希望する方々に配布されました。

冊子はB5判、48ページのカラー印刷で、雨天でも参道の石仏を巡りながらで使えるように水に濡れても丈夫なPP加工紙で作成されています。

見開きに江戸時代の絵師歌川広重の浮世絵「諸国名所八景 信州久須里山」が配され、往時、善光寺参りに合わせて訪れる名所とされていたブランド薬師の奇抜な姿が描かれています。

内容は続いて「写真でみる十三仏めぐり」として参道を巡り順番に十三仏鑑賞ができる写真、「ブランド薬師（八檜神社）とは」にはブランド薬師の“名前の由来”、“特徴ある懸崖造り”、“ブランド薬師の歴史”が掲載されています。

そして「石造十三仏と生まれ年（守護仏）」で十三仏の紹介と各仏像が生まれ年（干支・十二支）の守護仏となっていることが語られ、最後に「プラス4仏紹介」として表参道・裏参道入口や神社本殿等に置かれた4石仏が掲げられています。

いずれも美しい写真とともにそれぞれの仏像の解説があり興味深く読み応えのあるものとなっています。

これらの解説文や考察全体は長野市地方文化財審議会会長の相原文哉先生が監修されました。なお相原先生は令和2年11月1日講演先で急逝されました。

<追悼 相原文哉先生>

八檜神社の長野市文化財指定に当たって、長野市地方文化財審議会会長としてご指導を賜ってきました相原文哉先生が、去る令和2年11月1日講演先で急逝されました。

先生は元長野工業高校建築科教諭で寺社建築・仏像などに造詣が深く、2017年頃より当地区まちづくり計画の一環として取り組んだ八檜神社（ブランド薬師）の研究・資料発掘・解析、講演会の開催、参道十三仏に設置した看板の監修、そしてその集大成として完成した冊子「ブランド薬師 十三仏をひもとく」の監修など、浅川地区住民自治協議会が取り組んできた地域活性化活動に多大なご尽力をいただきました。

これまでのご指導・ご尽力に深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【表紙】



【歌川広重】



【写真で見る十三仏巡り】



【ブランド薬師（八槨神社）とは】



【石造十三仏と生まれ年】



【各石仏】



【ブランド薬師を調査する相原先生】

保護司会「なかよし交流会」開かれる

～ “防災意識をたかめよう！” をテーマに ～

11月23日（月）西条公民館で浅川地区保護司会が主催する「なかよし交流会」が開かれました。保護司会ではこれまで8月に流しソーメン大会などを開いてきましたが、コロナ感染拡大防止のため内容を変更して開催したもので今回が4回目となります。

コロナ感染拡大や昨年の台風19号災害などを踏まえ、防災をテーマに、ペットボトルとLED（発光ダイオード）を使ったランタンづくりやコロ



【ペットボトルでLEDランタンを作りました！】



【備蓄クッキングレシピ&防災ポーチの展示】



【講演で浸水の高さを示す 清水さん】

ナ差別に反対するシトラスリボンづくり、また備蓄品で作れる災害時の備蓄クッキングなどの展示が行われました。

また台風19号被災後、被災者の交流・支援拠点「まちの縁側 めくめく亭」を立ち上げた豊野町の清水厚子さん が被災当時の状況や支援活動について講演、要介護者の中に避難所に行けなかった人がいたことを挙げ、「昔のような井戸端会議のような場で地域のつながり強めることが大切」と呼びかけました。

「あさかわの里山と森を守る会」活動報告！

浅川西条地区での活動として、8月28日と9月4日の2日間、運搬車の進入路を整備しました。また、10月から12月にかけて、本格的な薪の原材料づくり活動を計8回実施しました。



進入路の整備には延べ17人が参加し、猛暑の中、藪の刈り払いと整地作業を行いました。



伐採のほか、斜面にある倒木をウインチを使って引き上げ、玉切りする作業を行いました。

「あさかわの里山と森を守る会」～新規会員を募集しています～

地域に根差した里山の整備活動を行っています。伐採の技術やノウハウを身につけたい方、里山の保全活動に興味のある方など、お気軽にお問い合わせください。

【問】あさかわの里山と森を守る会事務局（浅川支所内、担当：松橋）TEL：241-3552

地域おこし協力隊だより

Vol.11



研修先ぶどう園の収穫作業、県内外ワイナリーでの醸造研修などは昨年10月一杯で終了し、11月より浅川の圃場へ戻り作業を開始しました。12月積雪前までに急いで落ち葉撒きや堆肥を行い、積雪後は垣根仕立てで使用する支柱用の木材伐採と製材作業主に行っています。

今年は大雪、畑の雪状況を見ながら、剪定作業や支柱設置作業などを平行して行っていく予定です。今年の生育管理次第で、来年の初収穫がしっかり出来るかどうか決まると考えていますので、気を抜かずブドウ樹の生長を見守っていきたいと思います！引き続き応援の程どうぞよろしくお願いいたします。



【冬のぶどう園】



【堆肥になる落ち葉】



【支柱にする木材を伐採し製材しています！】



浅川の一年を振り返って

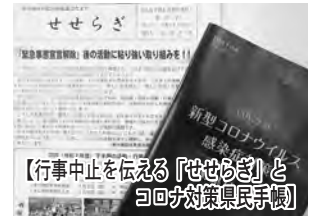
浅川支所長 松本浩隆

浅川の2020年を振り返り、5つのトピックスにまとめてみました。

1 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市民生活に大きな影響

2月末ごろから国内でも感染が拡大しつつあった新型コロナウイルスは、4月には「緊急事態宣言」が発令されるなど外出自粛、営業自粛が要請される事態となり、住自協総会をはじめ市民運動会、ゆうわ祭など多くの行事が中止を余儀なくされました。

感染拡大の懸念がある中で、市民生活や地域の活動にまだまだかつてない大きな影響を受けました。

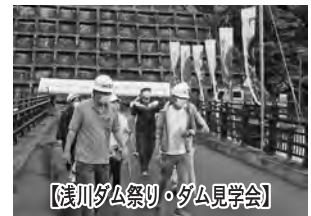


【行事中止を伝える『せせらぎ』と
コロナ対策県民手帳】

2 コロナに負けるな！浅川ダム祭り開催

7月23日、浅川ダムにおいて、県浅川改良事務所主催のダム祭りが開催され、愛護会主催の「夏の農産物祭り」も同時開催されました。コロナ禍の中、県内外から300名余の来場者があり、ダム探検やドローン操縦体験、ミニ工作など様々なイベントが開催されました。

そのほか、9月27日には地公連主催の浅川ダム周辺をめぐる地区内めぐりが開催され、小学生から80歳代まで50名余が参加されました。



【浅川ダム祭り・ダム見学会】

3 『浅川地区まちづくり計画』の実践最終年度と第二次計画の策定

平成28年から5か年計画で進められてきた浅川地区まちづくり計画は、今年度で最終年度を迎え、ブランド薬師の総合案内看板の設置や参道十三仏をめぐる案内パンフレット及び『ブランド薬師、十三仏＋4仏をひもとく』のカラー冊子の発刊などがありました。

また、策定委員会において第二次計画の策定が進められました。併せて、『第二次浅川地区地域福祉活動計画』も最終年度を迎えたことから、第三次計画の策定が進められました。



【第2次まちづくり計画策定委員会】

4 令和2年7月豪雨災害 浅川地区でも被害発生 北郷で2か所市道崩落、全面通行止めに

梅雨前線による長雨、豪雨により、7月8日に北郷竹ノ下において地滑りが発生し、また12日には北郷中央線池平地籍で路面が崩落し、全面通行止めとなる災害が発生しました。

今後、道路課において復旧工事が進められ、池平の箇所は令和3年度上半期に、竹ノ下の地すべりは、令和3年度末までに復旧完了する予定です。



【7月豪雨・北郷土砂崩れ】

5 ワイン用ブドウの苗木 順調に生育

台風19号災害土のワイン圃場への客土工事が4月上旬に完了し、その後、仮植していた苗木の定植作業が5月中旬までに終了し、約7,000本の苗木たちは順調に生育しています。来年2022年には初収穫となりそうです。浅川の圃場にたくさんのブドウが実り、浅川産の美味しいワインが飲めるのが今からとても楽しみです。



【地域おこし協力隊・ワイン生育順調】

2020年の漢字は、流行語大賞となった「三密」の「密」でした。先の見えないコロナ禍の影響で生活が一変し、家庭や地域のお店などもご苦労が多いかと思えます。

2021年この先もどうなるのか誰も予測できませんが、早くワクチン接種が始まり、普通の生活が一日も早く戻ることを願うものです。

共に生きる



❀花の苗交換会を開催しました❀

去る10月30日（金）浅川支所福祉自動車駐車場にて、花の苗交換会が開催されました。新型コロナウイルスの影響で春の交換会が開催できず、この日を楽しみにして下さっていた多くの方にお集まりいただきました。

ボランティアグループ『花❀花❀隊』が中心となり、花壇の植え替えも行ないました。夏の間、あさがおやマリーゴールドで支所にお越しの皆さんをお迎えしていた花壇は、次のシーズンに向けてすっかり表情を変えています。花の季節を楽しみにしていただきね。

支所入口の「ちょこっと交換会」のコーナーでは、随時、地域の方がお持ちくださった植物の種の交換会を行っています。ご自由にお持ち帰りください。また、おうちで増えすぎてしまった花や種がありましたら、お寄せいただければ幸いです。一緒に、浅川地区を花と笑顔でいっぱいにしませんか？



花の苗交換会にご協力くださっている『花❀花❀隊』の皆さんの活動が「ながの花と緑の大賞2020」の奨励賞に選ばれ（せせらぎ第76号にて既報）、11月24日（火）長野市役所第二庁舎10階講堂で表彰式が執り行われました。

市役所や支所等の窓口で配布されている応募作品集「はなとみどり2020」に写真が掲載されています。

ぜひ、ご覧ください。

第33回長野市景観賞・ながの花と緑大賞2020表彰式



「あさかわ号」運行改善について

現在「中山間地域輸送システム」として当地区では「あさかわ号」が運行されています。高齢化が進む中、中山間地域での移動手段として不可欠な存在です。今後の利用増加を促進するため、昨年には加藤市長との懇談を実施し具体的な取り組みを長野市交通政策課とともに検討しています。地域福祉懇談会で頂いた「中山間地域での交通・移動手段の確保」を実現するために多くの皆さんのご意見・要望を伺うアンケート調査を実施する予定です。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



見・要望を伺うアンケート調査を実施する予定です。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

「地域福祉活動計画」完成

昨年6月から住自協及び関係団体の参加により策定作業を進めてきた「第三次浅川地区地域福祉活動計画」がこのほど完成し、全戸配布させていただきました。



「住み慣れた地域で健康で安心して過ごせる浅川地区」を実現するためにぜひご一読いただき、みんなの力で支え合い・助け合うことのできる浅川地区にしていきたいと思います！

わたしのまちのたすけあい事業 協力会員さん

福祉自動車ふくちゃん号の移送協力会員さん。

安全運転を心がけても気を遣って運行してくださる小山隆さん(右)と、急な運行のお願いも快く引き受けて下さる松村英三さん(左)です。

今日は朝から2台がフル稼働！

お二人とも運行30分前に来てくださり、運行前の点呼とコロナ対策の消毒をしてから出発です。

これからもよろしくお願いいたします。



※写真撮影のためにマスクを外しています

「無理・無駄・見栄」のない生活のための生活改善運動

ちょっとした生活の見直し『生活改善運動』しませんか？

- ・冠婚葬祭は簡素にする
 - ・出産祝い、病気お見舞い、お通夜などは節度ある金額とし、お返しは無し
- こんな時、浅川地区の生活改善用金封を利用しましょう。



裏面には『浅川地区生活改善推進委員会（社協）の申し合わせにより、お返しはいただきません』の文面が入っています。

浅川支所内 社会福祉協議会にて20枚100円で販売しております。

その他の主な事業・活動

☆年末恒例の“しめ縄づくり”行われる

12月20日（日）、浅川公民館分室で「しめ縄づくり（公民館冬期学級）」が行われました。小島高志公民館長を講師に、30名余のみなさんが参加しました。

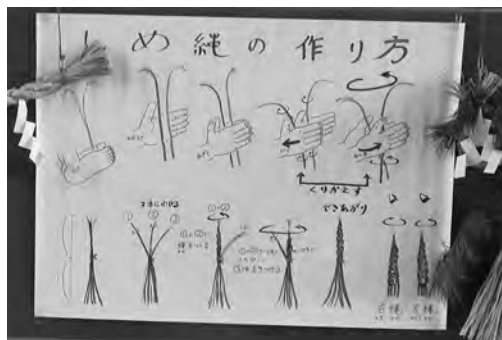
コロナ感染拡大の中で、ともすればひきこもりがちになる気持ちを奮い起こして、コロナ退散と新しい年の平安であることを祈りながら、真剣な表情で注連飾りを作っていました。

あらためて来る年が良い年でありますように！

（教育文化部会・地区公民館連合会）



【講師の小島館長としめ縄の作り方】



【一所懸命にワラと格闘しました！】

12月以降の中止になった主な事業

- ☆浅川地区住民福祉大会（社会福祉協議会）……………12月5日（土）予定
- ☆浅川地区新年祝賀会（区長会・地区公民館連合会）……………1月3日（日）予定
- ☆冬季スポーツ大会（地区公民館連合会）……………2月14日（日）予定
- ☆男女共同参画推進講演会（人権啓発委員会）……………2月21日（日）予定

「赤い羽根共同募金」にご協力ありがとうございました！

募金総額 **1,470,028** 円

（内訳） 個人：1,283,528円、法人：186,500円

※浅川地区目標額840,000円を超過する額は住民自治協議会に還元され、様々な活動費に充てられる予定です。

広報委員から

新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は新型コロナウイルス感染拡大の中、皆様より活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

「浅川地区白バラ会」では、令和3年秋に任期満了を迎える長野市長選に向けて長野市選挙管理委員会と協力しながら、棄権防止など「明るい選挙推進」に努めていきたいと思っております。

今年は、“どんな時でも希望が生まれる” そんな年になりますように！

広報委員 総務環境部会・白バラ会 宮本沙世子